

～チャレンジ事業審査委員会委員からの講評コメント～

団体名：川上かわたん

■メンバーだけで遊歩道や広場の整備するのではなく、場づくりをきっかけとして地元の学校などとの連携を進めている点が素晴らしいと思います。また、移住者にも働きかけメンバーの裾野を広げている点も評価できます。コロナ禍でイベントの実施や関係人口への呼びかけは行えていないとのことですが、次年度事業に向けて一層の活躍が期待されます。

■山奥などの険しい場所での作業のほか、地元の中学生にも協力してもらうなど地域で力を合わせて取り組まれていることが伝わってきました。

今年度はコロナ禍で思うように活動できなかったと思いますが、外部の人を呼び込には工夫が必要なので、例えば動植物をもっと具体名で伝える、知識や情報を加えるなど興味を引くPR方法を検討いただきたいと思います。

■岩井川源流までの案内板やルート整備などを通して、地域の宝である大滝を知って貰いたいという熱い思いが伝わってきます。房日新聞等に紹介して貰う、観光協会の協力を得て、口コミで広がることで、校流人口が増えることから始めてはいかがでしょうか。

■一年目として環境整備に重点を置かれたと思います。今後は外部への参加活動を期待しております。

■「遊歩道」としての整備が順調に進んでおり安心しました。また、地域に愛される場所になるうえでも、富山学園の生徒と協働した活動が出来たことは素晴らしいと思います。新たな観光資源としていくには、整備と管理を続けていくことが肝心であると思いますので、来年度以降も事業実施をよろしく願います。